



東の子の生活

本資料は、毎年年度末に職員で内容の見直しを実施しています。

1 思いやる子

笑顔のあいさつと返事をしよう。
正しい言葉遣いをしよう。
友達を「さん」づけで呼ぼう。
思いやりをもって人とかわろう。
静かに一生懸命、清掃をしよう。

2 進んで学ぶ子

先生の話や友達の考えをよく聞こう。
進んで自分の考えを伝えよう。
進んで読書しよう。
毎日コツコツと、学習に取り組もう。

3 健やかな子

進んで外遊びをして体力をつけよう。
早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活を心掛けよう。
困っている子には進んで声をかけよう。
自分や友達、動植物の命を大切にしよう。

<けじめのある学習をするために>

時間、時刻を守って行動しよう。
休み時間に次の授業の準備をしよう。
大きな声で「始めます」「終わります」のあいさつをしよう。
先生の話や友達の発表のときは、正しい姿勢（ピン・ピタ・ゲー）で聞こう。
相手の方を見て、話を始めよう。
最後まではっきり話そう。
「お願いします」「ありがとうございました」等の気持ちをしっかりと伝えよう。

<落ち着いた学校生活を送るために>

○学習の妨げにならないように、文房具に不要な装飾品を付けないようにします。授業に必要な物は持ってきません。

学習や運動に支障がないように、長い髪の毛はヘアゴムでとめます。

冬の寒いときは、長ズボンをはいて調整します。登下校では、防寒着、手袋、ネックウォーマー等を着用して寒さを防ぎます。

週末には、上靴と赤白雑三あかしろぞうさん（赤白帽・白衣・雑巾・三角巾）を持ち帰り、家できれいにして翌週に持ってきます。

ベランダには出ません。

学習室には、用事がない時は入りません。

<下校後、安全な生活をおくるために>

自転車は、ヘルメットをかぶり、運動靴で乗りましょう。乗る場所や道については家の人と相談しましょう。
友達の家遊びに行くときは、外出先と帰る時刻を家の人に伝えましょう。
パソコンやゲームをするときは、使い方や使う時間などを家の人と話し合い、約束を守りましょう。

防災対策

地震や津波が来た場合を考えて、通学路の危険箇所の確認や家の人とはぐれた場合の対応について話し合っておきましょう。

生活の見直し

「ほけんだより」を家の人と一緒に読み、健康な生活について考えましょう。

